

令和3年度 長崎県中学校剣道競技新人大会実施要項

- 1 主 催 長崎県中学校体育連盟 長崎県教育委員会 長崎県剣道連盟
2 主 管 諫早市中学校体育連盟 諫早市教育委員会 諫早市剣道協会 長崎県学校剣道連盟
3 日 時 令和3年12月12日(日)
開 館 8:30(定刻より早く開館しない)
受 付 8:30~9:00
竹刀検量 8:30~9:20
練習時間 8:35~9:20
審判会議 9:20~
監督会議 9:30~
開 会 式 感染症対策のため実施いたしません。
競技開始 10:00予定 試合順(1)個人戦(2)団体戦

- 4 会 場 諫早市森山スポーツ体育館
諫早市森山町下井牟田1145番地 TEL 0957-35-2888

5 参加資格

- (1) 参加選手は、各郡市町中学校体育連盟加盟校に在学し、学校教育法に基づく当該中学校生徒とする。
- (2) 各郡市町中学校剣道競技新人大会において選抜された単一校のチーム及び個人で、当該中学校長が認めた1・2年生の生徒とする。
- (3) 引率・監督は、当該校の校長・教員・部活動指導員とする。
- (4) 大会では外部指導者をおくことができる。外部指導者は日頃から指導に携わっている者で、当該校の校長が認めた者とする。ただし、当該校以外の中学校教職員は認めない。また、同一人物が複数校のコーチにはなれない。
- (5) 長崎県中学校体育連盟が主催する大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとしている。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。

6 参加制限

- (1) 各郡市町からの出場チーム数・個人数は、長崎県中学校総合体育大会参加制限を適用する。
- (2) チーム編成は監督1名、コーチ1名、選手5名、補員2名の合計9名以内とする。ただし、選手編成が不可能な場合は、下記のとおりとする。
 - ① 4名編成の場合は、次鋒をあける。(不戦負け)
 - ② 3名編成の場合は、次鋒と副将をあける。(不戦負け)

7 競技方法

- (1) 男子団体戦は予選リーグ・準決勝リーグの後、決勝とし、勝者数法によって勝敗を決する。シード順位決定戦は行わない。(令和3年度長崎県中学校総合体育大会剣道競技団体戦の競技方法と同様)
 - ① 参加チームを2~4チームでA・B・C・D・E・Fの6パートに分けて予選リーグを行い、A・B・Cパートの各1位チーム、D・E・Fパートの各1位チームによる準決勝リーグを行う。その後、準決勝リーグの1位チームによって決勝を行う。
 - ② 予選リーグについては、試合は3本勝負、時間は3分、延長なし。勝敗が決しない場合は引き分けとする。リーグ内における順位のつけ方は、チームが勝ちの場合は2点、引き分けの場合は0.5点、負けの場合は0点とし、得点・チーム勝数・勝者数・得本数の順で勝者チームを決める。なお、同数の場合は、最終試合者の中から任意の代表者による決定戦を下

記の要領で行う。

※ 3校同数の場合、試合は3本勝負、時間は3分、延長は勝敗が決するまで行う。任意の代表者は試合ごとの変更を認める。試合順は同じとする。2校同数の場合、試合は1本勝負、時間は3分、延長は勝敗が決するまで行う。

- ③ 準決勝リーグについては、試合は3本勝負、時間は3分、延長は2分の1回、勝敗が決しない場合は引き分けとする。得点・チーム勝数・勝者数・得本数が同数の場合は、任意の代表者による決定戦を上記7(1)②に準じて行う。
 - ④ 決勝については、試合は3本勝負、時間は3分、延長は2分の1回、勝敗が決しない場合は引き分けとする。ただし、チームの勝敗が決した場合、延長は行わない。両チームの成績が勝者数・得本数ともに同数の場合は、最終試合者の中から任意の代表者による決定戦を行う。試合は1本勝負、時間は3分、延長は勝敗が決するまで行う。
- (2) 女子団体戦は予選リーグの後、決勝トーナメントとし、勝者数法によって勝敗を決する。参加校が9校以下の場合には予選リーグが2パート、10校以上14校以下は予選リーグが4パートとなる。
- ① 参加チームをチーム数に応じて2～5チームで各パートに分けて予選リーグを行い、その後、各パート上位2チームによる決勝トーナメントを行う。
 - ② 予選リーグについては、試合は3本勝負、時間は3分、延長なし。勝敗が決しない場合は引き分けとする。リーグ内における順位のつけ方はチームが勝ちの場合は2点、引き分けの場合は0.5点、負けの場合は0点とし、得点・チーム勝数・勝者数・得本数の順で勝者チームを決める。なお、同数の場合は、上記7(1)②に準じて代表者戦を行う。
 - ③ 決勝トーナメントについては、試合は3本勝負、時間は3分、延長は2分の1回、勝敗が決しない場合は引き分けとする。ただし、チームの勝敗が決した場合、延長は行わない。両チームの成績が勝者数・得本数ともに同数の場合は、任意の代表者による決定戦を上記7(1)④に準じて行う。
- (3) 個人戦はトーナメントとし、試合は3本勝負、時間は3分、延長は勝敗が決するまで行う。シード順位決定戦は行わない。
- (4) 参加申込後のオーダーの変更は認めない。
- (5) 個人戦・団体戦において試合が連続する場合は、3分間の休憩を入れる。個人戦は、面を外して3分経過後に面をつける。団体戦は、前試合の相互の礼から3分経過後に面をつける。

- 8 競技規則 全日本剣道連盟試合規則・審判細則、剣道試合・審判運営要領及び本大会の申し合わせ事項により行う。また、全日本剣道連盟が示す主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン(新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法)に記載された試合方法で行う。

9 申し合わせ事項

- (1) 足袋・サポーター・テーピング・コルセットの使用については、各試合場の審判主任に監督またはコーチと選手で申し出て許可を得る。サポーター等で底にゴムや革、滑り止めを貼った物の使用は禁止する。
- (2) 面金を黒塗りにするなど、通常の配色でない面の使用を禁止する。
- (3) 面乳革は大きさ、模様を含めて華美にならないように配慮し、黒色または紺色とする。
- (4) 面紐の長さは、結び目より40cm以下とする。長い場合は試合の前後で切らせる。面紐の結び目の位置が高く、危険が予測される場合はつけ直させる。
- (5) 竹刀検量については、平成31年4月1日改正、全剣連剣道試合・審判運営要領「ちくとうの最小直径値の計測方法」による。竹刀の重量(男子440g以上、女子400g以上)及び長さ(114cm以下)の測定を実施する。柄革は模様のない無地の物で、滑り止め(ゴム等)がついた物の使用を禁止する。また、弦の色については、白・黄色が好ましいが、華美にならないよう配慮する。
- (6) 不正竹刀(ビニールやテープを巻いた物・異物を混入した物・検印のない物)を使用した場合は、試合規則第19条1・2・3を適用する。ただし、予選リーグにおいては補員の起用は認めない。決勝トーナメント戦においては、次の試合から補員の起用を認める。

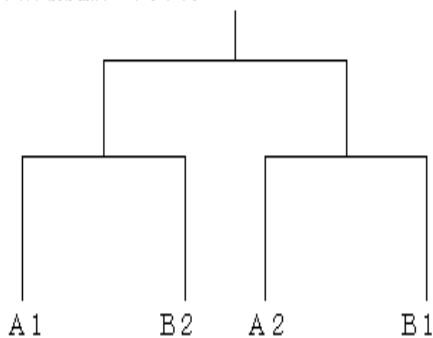
- (7) 両面に模様が入ったつばの使用は禁止とし、相手に向く側のつばの色は革色・白色とする。それ以外の物を使用している場合は、その場で取り替えさせる。
- (8) 垂れネームは「〇〇中」まで記入し、黒又は紺の布地に文字は白とする。同チームに同姓がいる場合は、名前の頭文字を記す。
- (9) 道場名等の記入された剣道着・袴の使用は禁止する。また、試合上判定に支障をきたす（華美なものを含む）ような剣道着・袴・剣道具への刺繍・紋章等をつけない。
- (10) 「変型な構え等の防御態勢（三所隠し）」をとった場合は、1回目は「合議」の上「指導」、2回目以降は「合議」の上「反則」とする。（公正を害する行為）
- (11) 試合の公正を害する行為や不当な押し出し、抜き胴への足かけ、かち上げや振り倒し等の危険な行為に対する反則は厳格にとる。その場合、主審の宣告に際しては教育的配慮により選手にわかるように説明する。また、他の件で合議し、反則を取る場合も取らない場合も両者に説明する。
- (12) 突き技は禁止とし、反則とすることもある。
- (13) 団体戦では原則として監督は選手席入りすることが望ましいが、試合進行の関係上、監督が選手席入りできない場合はコーチのみの選手席入りも可とし、異議申し立ても認める。個人戦での選手席入りは、監督・コーチ・個人戦出場選手のみとする。
- (14) 疑義のある場合は、当該者の試合終了までに監督がその試合場の審判主任に異議を申し出ることができる。（審判主任の説明を、コーチも一緒に聞くことができる。）なお、コーチによる異議申し立てはできないが、同校生徒の試合が2試合以上で同時に行われ、監督不在になった場合に限り認める。
- (15) 選手席への時計の持ち込み（監督・コーチの腕時計やビデオ・タブレット等を含む）、及び監督・コーチからのサインなどによる指示等は禁止する。また、応援は拍手のみとする。
- (16) 必ず面マスクとマウスシールドを着用する。

10 組み合わせ

- (1) 主管地及び長崎県中学校体育連盟剣道競技専門委員で厳正に抽選する。なお、団体戦・個人戦とも令和3年度長崎県中学校総合体育大会剣道競技団体戦入賞校・個人戦入賞者の地区には入賞校・入賞者の数だけシード権を与える。
- (2) 女子のシード権は、前述の大会の順位に応じて各リーグに適用する。なお、シード権を保持している地区から参加チームがない場合は、シード順位は繰り上げる。女子団体戦の決勝トーナメントについては、各予選リーグで対戦したチームが決勝まで再び対戦しないようにする。
- (3) 予選リーグが2パートの場合は、各パートの予選3位の学校に白龍旗争奪中学生選抜剣道大会（九州中学校選抜新人剣道大会）の出場権が与えられる。予選リーグが4パートの場合は、下記のトーナメント表に従って決定戦を行い、白龍旗争奪中学生選抜剣道大会（九州中学校選抜新人剣道大会）の出場権が与えられる。

【女子団体予選リーグが2パートの場合】

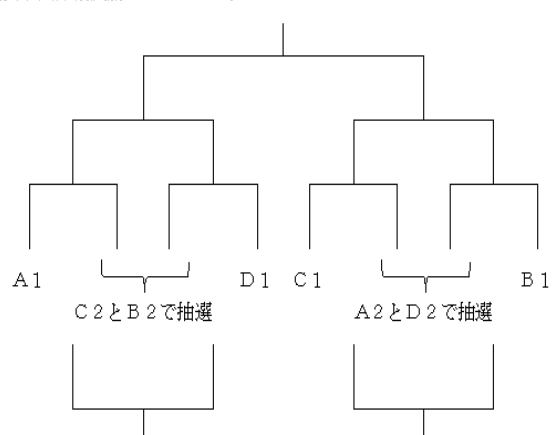
〔女子団体戦決勝トーナメント〕



※各パートの予選3位の学校に、白龍旗争奪中学生剣道大会（九州中学校選抜新人剣道大会）の出場権が与えられる。

【女子団体予選リーグが4パートの場合】

〔女子団体戦決勝トーナメント〕



白龍旗争奪中学生選抜剣道大会（九州中学校選抜新人剣道大会）出場

11 表彰

- (1) 団体戦優勝校に優勝旗と賞状を、第2位・第3位校に賞状を授与する。
- (2) 個人戦第1～3位の入賞者に賞状を授与する。

12 申込方法

大会参加申込書（女子は朱書き）に必要事項を記入し、学校長の押印を受け、下記申込先に令和3年11月16日（火）必着で提出する。コーチ申請については、必要事項を記入し、写真を貼付したコーチ申請書を参加申込書と同時に提出する。

また当日受付時に〈オーダー確認用紙〉を2部提出してください。

※ 登録選手7名の中からオーダーを決めて提出してください。

13 参加料

大会参加料（1チーム5,000円、個人1名500円）を選手申込と同時に下記振込先に学校名（例：ナガタチュウ）で納入する。なお、団体戦に出場した選手が個人戦に出場する場合でも、個人戦参加料は納入する。（振込手数料については、各校が負担することとする。）

参加料例： 団体戦男女とも参加（5,000円×2チーム分で10,000円）で、個人戦4名参加（500円×4名分で2,000円）の場合、合計12,000円となる。

【申込先】 〒854-0044
諫早市西郷町930番地1
諫早市立諫早中学校 白丸 邦昭 宛
TEL 0957-22-0091
FAX 0957-22-0490

【振込先】 十八親和銀行 有明支店 普通1019035 ケンドウセンモンブ

14 その他

- (1) 本大会の団体戦入賞校・個人戦入賞者の地区には、令和4年度長崎県中学校総合体育大会剣道競技のシード権を与える。また、団体戦男女上位6校は、2月に熊本県で開催予定の白龍旗争奪中学生選抜剣道大会（九州中学校選抜新人剣道大会）の出場権を得る。加えて団体戦男女上位4校は、3月に佐賀県で開催予定の神埼市長旗全国選抜中学生剣道大会の出場権を得る。
- (2) 場内での横断幕・部旗の掲示は禁止する。また、選手席への千羽鶴や竹刀袋への不必要な飾りの持ち込みを禁止する。
- (3) 飲食物等のごみなどは各学校で持ち帰る。
- (4) 監督・コーチ・選手・役員のみ入場できる区域には、その他の者は立ち入れない。その他の事項についても係員の指示に従う。
- (5) 団体戦参加校はオーダー用紙を下記の要領（模造紙1/4程度の大きさ、左側から学校名、先鋒、次鋒、中堅、副将、大将の順で記入）で作成し、当日、受付時に提出する。

○					
○					
中					

縦：約27cm

横：約79cm

- (6) 本大会は新型コロナウイルス感染症防止対策として、別に定める「長崎県中学校体育連盟主催大会実施上の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に則り実施します。参加者及び全ての関係者はガイドラインを遵守し、大会に参加してください。